

令和2年度（県立伊勢原高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令順守意識の向上	日頃から教育公務員としての自覚をもって行動する。	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職による講話、職員全員への面接を実施した。 ・朝の打ち合わせや職員会議等で各種報道や資料等を活用し、具体的な事例を通して意識啓発に努め、法令順守の意識を高めた。
わいせつ、セクハラ行為の防止	人権及び男女共同参画等を踏まえ、わいせつ、セクハラ行為を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職による講話、教科準備室の整理、アンケートを実施した。 ・職員に携帯電話や電子メールの適切な使用と申請等を徹底した。 ・不祥事防止会議等で県からの発出された資料や報道内容等の資料を使って研修を行い、わいせつ、セクハラ防止について職員の意識を深めた。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、「体罰防止ガイドライン」を遵守し、体罰・不適切指導を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職による講話、関連資料の配付・掲示、アンケートを実施した。 ・県の作成した体罰チェックシートを使い、不適切な指導にならないよう職員の意識を高めた。 ・部活動の顧問同士、お互い声を掛け合う環境づくりに努めた。
調査書・通知票等の作成、成績処理に係る事故防止	成績処理や調査書作成等での事故やミスが起こらないよう複数チェック体制を構築すると共に、点検する自覚を持つ。	<ul style="list-style-type: none"> ・成績処理についてゆとりのある予定を立てることに努めた。 ・学年やグループで複数チェック体制を整え、点検した。
個人情報等管理・情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の取り扱いについて細心の注意を払うと共に、その流出を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職による講話、調査を実施した。 ・教務手帳や成績に関する書類は、施錠できる場所に安全に保管した。 ・試験や成績処理期間中には裁断機に誤廃棄防止の無いよう、注意喚起の張り紙をした。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	教育公務員としての自覚を持ち、交通法規を遵守する。	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職による講話、啓発資料配付を実施し、ポスターを掲示した。 ・県の交通事故防止チェックシートを用いて安全運転の意識を高めた。 ・不祥事防止会議で事例を交えて研修を行い、職員の教育公務員としての自覚を高めた。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制）	職員がお互いに積極的にコミュニケーションを図れる風通しのよい職場作りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・起案の徹底、報告・連絡・相談の励行に努めた。 ・学年やグループ内で役割は分担されているが、複数での業務執行のチェックができる体制を整えるよう呼びかけた。

制、業務協力体制)		
会計事務棟の適正執行	様式等を見直すとともに、経理に関する不適切な事務処理を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・私費会計マニュアルを基に様式等を見直し、事故防止に努めた。 ・保護者通知や通帳との照合を細かくチェックし、不備のないように指導した。
入学者選抜に係る事故防止	マニュアルや点検体制を整備し、不祥事防止を徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策に係る新しい形式に沿った入選要項を作成し、手順の確認を徹底した。 ・職員が事故防止の意識を持ち、落ち着いて取り組めるよう採点、模擬面接等の研修の機会を設けた。

○ 令和2年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和3年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

達成状況

本年度、9項目について不祥事防止会議等で職員への注意喚起と意識改革を図った。

毎月事故・不祥事防止の研修会を実施し、学校全体で不祥事防止に取り組む体制ができた。また、毎回チェックシートを活用したことで、自己の振り返りを行うことができ、継続的な意識啓発の点において、大きな成果があった。

入学者選抜に係る事故防止では、これまでの事故事例を職員全体で共有した。また、感染防止対策に係り従前と異なる対応について、県からの資料を丁寧に確認し、マニュアルを総点検する等事故防止に努めた。

令和3年度への取り組み

職員室等を定期的に整理することを呼び掛け、整理整頓に努め書類の紛失や提出日の遅延をなくすよう取り組む。また、校内研修会をさらに充実させ、職員の事故防止意識やコンプライアンス体制の強化をすすめる。

事故・不祥事防止の取り組みにゴールはなく、今後も、様々な形態で効果的なプログラムを検討し、学校一丸となって事故・不祥事防止に努めていきたい。